

令和4年度第2回学校運営協議会議事録

さいたま市立芝川小学校

1 日時・場所 [日時] 令和4年11月21日(月) 9:30～11:00
[場所] 校長室

2 出席 会長 (自治会役員)
副会長 (芝川小学校PTA会長)
委員 (学童保育所指導員)
(主任児童委員)
(前PTA会長)
(おやじの会相談役)
(芝川小学校PTA副会長)
(芝川小学校校長)
(芝川小学校教頭)
(芝川小学校教務担当者)
(芝川小学校学校地域連携コーディネーター)

3 次第

- (1) 開会宣言(会長)
- (2) 校長挨拶
- (3) 学校評価アンケート結果について
- (4) 熟議
- (5) その他(連絡事項)
- (6) 閉会宣言(会長)

4 議事概要

- (1) 学校評価アンケート 保護者集計結果について
 - ① 結果の概要について
 - 今年度は、8割ほどの保護者から回答を得た。自由記述は、55名から回答を得た。
 - 全校のまとめでは、学習指導、体力向上、児童理解の3項目について、約1割の否定的な回答があった。この3項目は、令和3年度と比較しても、前年度より低下している。

② 質疑応答

- P T Aで対応できるものも含まれているが、今後どのようにしていくか。→公表に向けて資料を整理したら、P T A本部に教頭から伝えていく。
- 学校は、地域・家庭と連携していくものということを分かっていない回答もある。情報の共有、発信の仕方を考えたい。
- 情報の発信については、詳しい職員がいないと難しい面がある。その点についても、地域からお力を得られると有難い。

(2) 熟議について

議題：（学校評価アンケート保護者集計を受け）

「家庭と地位の力を活用し、役割分担を図ることで、芝川小学校の教育活動をどう充実していくか。」

<主な意見>

(あいさつ)

- ・朝のあいさつはなかなかできないが、それ以外是可以する。
- ・子どもがしない、ではなく大人からする。
- ・子どもたちが、先生に「ありがとう」を伝えることができるとよい。

(地域との関わり)

- ・学校に誰でも入れる状況なので、セキュリティは不安がある。
- ・地域で見守るスタンスで、地域の方や介護施設、保育園の散歩を受け入れ、あいさつを交わすことで防犯につながるとよい。自治会との連携もしていくとよい。
- ・ホテル観察園の在り方を変えていく必要がある。地域の専門家の力も取り入れたい。
- ・学校は、保護者・地域との連携が必要である。「～をやってほしい、忙しいからできない」から保護者の意識を変える必要がある。
- ・地域の学校として、交流をもてるとよい。中学生も関われないか。
- ・学童では、保護者に「サポーター」という形で運営に関わってもらっている。
- ・P T Aでも、来年度に向けてホリデイクラブの内容を検討しているところである。
- ・給食の食材に、もっと地域の作物を取り入れられないか。P T Aから補助してもよい。学校とのつながりができると、生産者も地域の一員として協力してくれるのではないか。

(学習)

- ・子ども自身の力をどう育てていくか。「やってもらうことが当たり前」にしないようにしたい。
- ・宿題は本当に必要だろうか。特に長期休業中は、なしでもよい。
- ・宿題の出し方には、教員側の意識を改める必要もある。
- ・高学年の教科担任制は、よい。教員の働き方改革にもつながるし、担任と相性の悪い児童にとっても、学年全体で見てもらえる。
- ・教員には、できるだけ教材研究の時間をとってもらい、楽しい授業をしてもらいたい。

(3) 事務連絡

- ・運営委員の学校評価アンケートは、11月中に実施。
- ・第1回議事録について
- ・横断幕スローガン
芝川小学校児童会案「彩あふれるあいさつで 地域のみんなで一致団結」
を提出。さいたま市の横断幕は、校庭フェンス南側に掲示。

5 今後の方向性

- 熟議での意見を受け、取りまとめたキーワードを基に、学校評価結果の公表に向けて資料を準備する。
- 学校運営協議会の議事録及び学校評価について、学校ホームページ等で情報発信していく。

- 6 次回開催予定 [日時] 令和5年2月17日(金) 9:30~11:00
[場所] 校長室